

病棟名：8西病棟



病床数：40床

スタッフ人数：看護師長 1名・副看護師長 2名・スタッフ 24名
看護アシスタント 3名・事務アシスタント 1名（午後）
男性看護師 0名

部署の雰囲気：

入退院、処置が多くて日々忙しい病棟ではありますが、常に元気で明るい雰囲気の病棟です。スタッフ間の仲は良く、検査や処置、分からない事などは先輩が優しく丁寧に教えてくれます。患者さんの不安や苦痛を少しでも軽減できるように笑顔で心がけ、安心出来る入院環境を作るように日々看護をしています。

部署の自慢できること：

スタッフです。

8西病棟は明るく笑顔がたえません。

入退院が激しく、緊急入院も多い病棟ですが、どんなに忙しくてもスタッフは嫌な顔をしません。

毎朝、消化器内科医師とカンファレンスを持ち、情報交換をしています。

糖尿病内科も週1回、他職種でカンファレンスを行い、医師と話し合える環境があります。

スタッフからのメッセージ：

8西病棟では、消化器内科の疾患、糖尿病教育入院、眼科の患者様が入院されています。

眼科では手術、消化器内科では内視鏡治療や化学療法など様々な治療を受けられている患者様への看護の経験を積むことができます。

また、急性期から終末期の方まで幅広く関わることができます。日々多忙ですがスタッフ間が仲良く元気で働きやすい環境です。

是非、8西と一緒に働きませんか？

師長(管理者)からのメッセージ：平井 鈴代

モットー・大事にしていること：患者さんのことを一番に考える

8西病棟は消化器内科、糖尿病内科、眼科の混合病棟です。

消化器内科は主に内視鏡検査・手術を受ける患者さんが多く、昨年度は1300件行っています。

潰瘍性大腸炎やクローン病の専門機関のIBDセンターとして、治療や生活指導なども行っています。

化学療法も年間 100 件以上あり、種類も多岐に渡りますが、マニュアル通りに確実に治療が行えるように薬剤師さんの助言も受けたりしています。

糖尿病内科は教育入院が主で、栄養指導や薬剤指導を行い、自分で生活を変容できるように働きかけます。

また、患者さんがインスリンを自分で行えるように手技の指導を行っています。

眼科は入院当日の手術がメインであり、慌ただしく 1 日が過ぎていくことが多いです。

午前の退院・午後入院の形式をとっており、入退院が多い部署です。

内視鏡・手術の搬送などスタッフは日々駆け回っていますが、常に笑顔で対応し、患者さんの思いもしっかり聴く姿勢で、悩み・思いを傾聴できています。

患者アンケートでは、「丁寧な対応・いつも爽やかな笑顔と快い対応ありがとうございました」など、心に響く言葉も頂いています。

忙しく駆け回っていますが、スタッフの患者さんへの対応は素晴らしいものがあります。

これからも患者さんが、安心して入院生活が送れるような環境を作っていきます。

私達と一緒に笑顔で頑張りませんか？

スタッフ全員で待っています。

